

平成 23 年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果 要 約

要約のポイント

- いわゆる非正規職員（正規の職員・従業員以外）が副業を行った割合は、正規の職員・従業員の3倍（2ページ）
- 平日の学校での授業や学校の宿題などの時間は、大学生が最も短い（4ページ）
- 「朝食」をとった人の割合は、男女共に25～34歳が最も低く、男性が約6割、女性が約7割（4ページ）
- 25～34歳の「テレビ」を見る時間は、平成18年と比べると10分以上減少（5ページ）
- インターネットの利用時間を年齢階級別にみると、25～34歳が最も長い（6ページ）
- 平日に一人で「夕食」をとった子供（10～14歳）は6%以下（7ページ）

●社会生活基本調査とは

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

平成23年調査は調査票A及び調査票Bを用いて実施し、今回公表する結果は、このうち、調査票B（アフターコード方式*¹）での詳細行動分類による生活時間の配分に関する結果であり、全国の世帯から無作為に選定した約4千世帯に居住する10歳以上の世帯員約1万人を対象としたものである。

なお、調査票Aでの自由時間における主な活動に関する結果は7月13日に公表し、調査票Aでの生活時間の配分に関する結果（全20区分のプリコード方式*²）による行動分類は9月26日に公表した。

* 1) 調査票に記入者自身が個々の行動を日誌のように記入し、集計の段階で行動分類に対応させる方式であり、調査後に行動分類の格付を行うため、詳細な生活行動の把握が可能になるとともに、国際比較に用いることが可能

* 2) 調査票にあらかじめ記載された行動分類を記入者自身が選択する方式

●用語

総平均時間……………該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間

行動者平均時間……………該当する種類の行動をした人のみについての平均時間

行動者率……………該当する種類の行動をした人の割合（%）

●ホームページURL

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/index.htm>

※この冊子のURLは、<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/pdf/houdou3.pdf>

1 詳細行動分類*)による生活時間

(1) 概観 (「結果の概要」2ページ参照)

○収入を伴う仕事などの「有償労働」時間は男性が女性より2時間45分長く、家事、育児、買い物などの「無償労働」時間は女性が男性より2時間59分長い

表1 男女、行動の種類別総平均時間(平成18年、23年)一週全体

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
有償労働	4.16	4.06	-0.10	5.42	5.30	-0.12	2.54	2.45	-0.09	2.45
無償労働	2.46	2.47	0.01	1.08	1.15	0.07	4.18	4.14	-0.04	-2.59
学業、学習・自己啓発・訓練	0.59	0.58	-0.01	1.04	0.59	-0.05	0.54	0.57	0.03	0.02
個人的ケア	11.03	11.06	0.03	10.57	11.00	0.03	11.08	11.13	0.05	-0.13
自由時間	4.27	4.34	0.07	4.37	4.47	0.10	4.16	4.22	0.06	0.25
その他	0.30	0.30	0.00	0.31	0.29	-0.02	0.29	0.30	0.01	-0.01

* 詳細行動分類

調査票Bの集計においては、行動の種類を大分類6、中分類22、小分類90に区分している。

大分類の内容は以下のとおり。また、中分類及び小分類の内容については、「結果の概要」72～74ページ参照。

有償労働……………収入を目的とする仕事。副業として行った仕事や通勤を含む。

無償労働……………家事、育児、ボランティア活動など収入を目的としない仕事。

学業、学習・自己啓発・訓練……………学校で行う学業や自由時間に行う学業、学習・自己啓発・訓練。通学を含む。

個人的ケア……………睡眠、入浴などの身体的ケア、食事などに関する行動。

自由時間……………交際、趣味、スポーツ、テレビなど各人が自由に使える時間における行動。

その他……………上記以外の行動。

(2) 有償労働 (「結果の概要」3～4ページ参照)

【副業関連】

○いわゆる非正規職員(正規の職員・従業員以外)が副業を行った割合は、正規の職員・従業員の3倍

・「副業関連」(副業及び副業中の移動)を行った人の割合(行動者率)は、「正規の職員・従業員」が0.6%、「正規の職員・従業員以外」(いわゆる非正規職員)が1.8%と「正規の職員・従業員」の3倍となっている。

表2 男女、従業上の地位、雇用形態別「副業関連」の総平均時間、行動者平均時間及び行動者率一週全体、有業者

	総数			男			女		
	総平均時間	行動者平均時間	行動者率	総平均時間	行動者平均時間	行動者率	総平均時間	行動者平均時間	行動者率
有業者	0.03	4.04	1.1	0.03	4.16	1.1	0.02	3.40	1.1
うち雇用されている人	0.03	4.16	1.0	0.03	5.05	0.9	0.02	3.26	1.2
正規の職員・従業員	0.01	4.47	0.6	0.02	4.52	0.6	0.01	4.06	0.4
正規の職員・従業員以外	0.06	4.09	1.8	0.07	4.54	1.9	0.04	3.09	1.7

注)「正規の職員・従業員以外」は、「パート」、「アルバイト」、「契約社員」、「嘱託」、「労働者派遣事業所の派遣社員」及び「その他」の数値より算出。

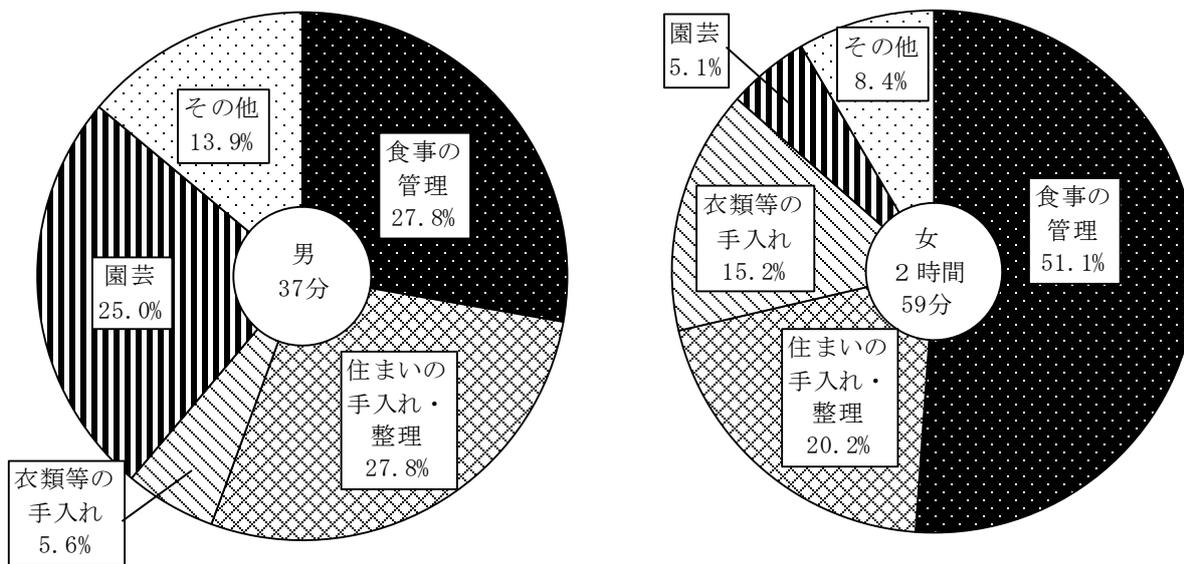
(3) 無償労働（「結果の概要」 5～6ページ参照）

【家事】

○女性は炊事などの「食事の管理」の時間が「家事」時間の約半分を占める

- ・「家事」時間を男女別にみると、男性は炊事などの「食事の管理」及び掃除などの「住まいの手入れ・整理」の割合が最も高く、次いで「園芸」などとなっている。一方、女性は「食事の管理」の割合が最も高く、「家事」時間全体の約半分を占め、次いで「住まいの手入れ・整理」、「衣類等の手入れ」などとなっている。

図1 男女、行動の種類（家事）別構成割合一週全体



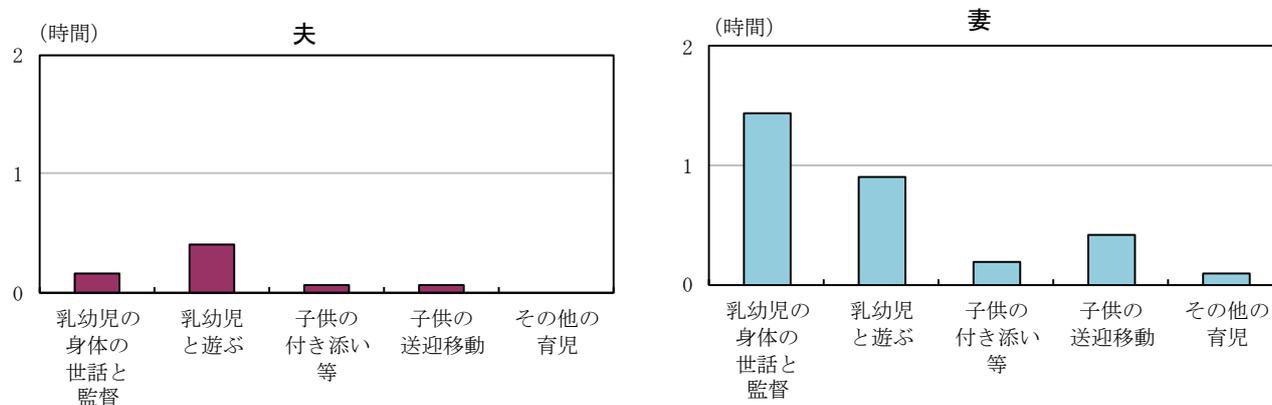
注)「その他」は、「家事」のうち、「食事の管理」、「住まいの手入れ・整理」、「衣類等の手入れ」及び「園芸」以外の数値（「家族（子供以外）の介護・看護」や「その他の家事」など）を合わせたもの。

【育児】

○6歳未満の子供がいる父親は「育児」時間のうち「乳幼児と遊ぶ」時間が最も長い

- ・夫婦と子供の世帯（末子が6歳未満）の夫（父）と妻（母）の「育児」時間のうち、夫（父）は「乳幼児と遊ぶ」、妻（母）は「乳幼児の身体の手世と監督」の時間が最も長い。

図2 行動の種類（育児）別総平均時間一週全体、夫婦と子供の世帯（末子が6歳未満）の夫・妻



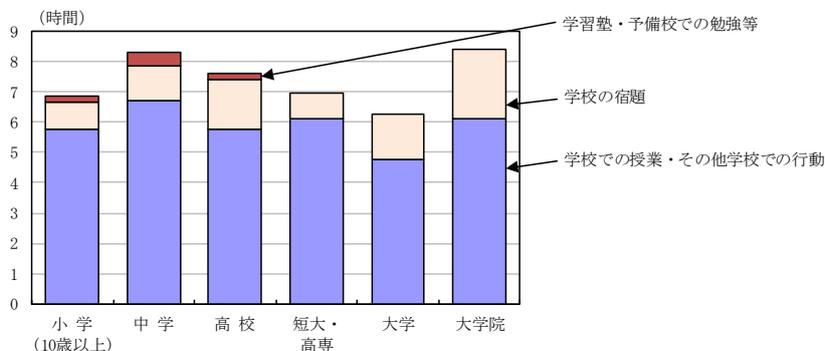
注)「その他の育児」は、「乳幼児の介護・看護」、「子供（乳幼児以外）の教育」及び「子供（乳幼児以外）と遊ぶ」の数値を合わせたもの。

(4) 学業、学習・自己啓発・訓練（「結果の概要」 7～8 ページ参照）

○平日の学校での授業や学校の宿題などの時間は、大学生が最も短い

・平日の「学校での授業・その他学校での行動」、「学校の宿題」及び「学習塾・予備校での勉強等」の時間は、大学生が6時間 17分と最も短くなっている。一方、大学院生が8時間 26分と最も長く、次いで中学生が8時間 20分などとなっている。

図3 在学する学校の種類、行動の種類（「学校での授業・その他学校での行動」、「学校の宿題」及び「学習塾・予備校での勉強等」）別総平均時間—平日、在学者



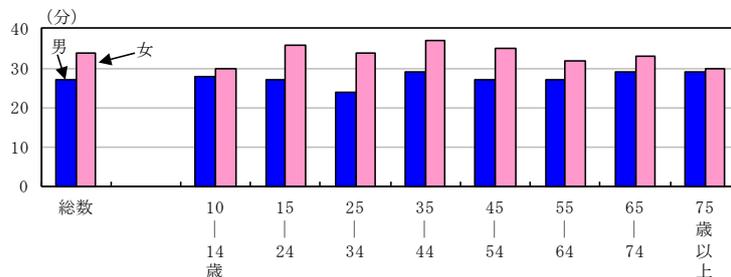
(5) 個人的ケア（「結果の概要」 9～10 ページ参照）

【身体的ケア】

○「入浴」時間は全ての年齢階級で女性が男性より長い

・「入浴」時間を男女、年齢階級別にみると、男性が27分、女性が34分で、全ての年齢階級で女性が男性より長い。

図4 男女、年齢階級別「入浴」の総平均時間—週全体

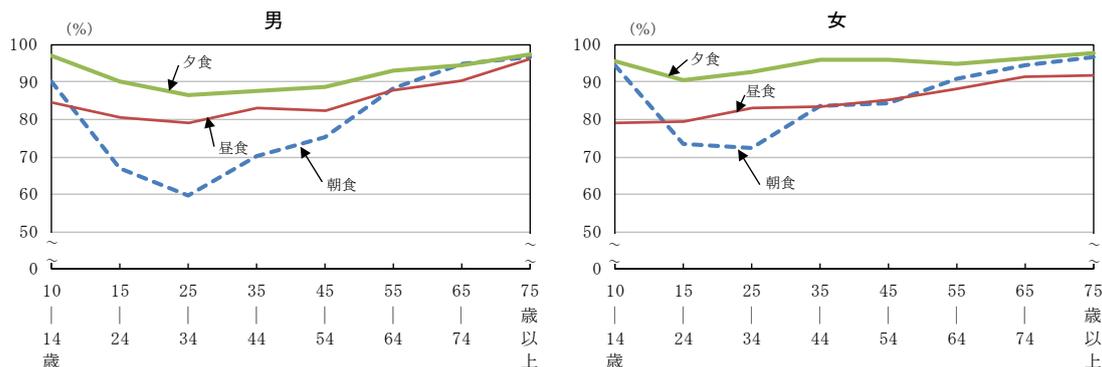


【食事】

○「朝食」をとった人の割合は、男女共に25～34歳が最も低く、男性が約6割、女性が約7割

・「朝食」をとった人の割合（行動者率）を男女、年齢階級別にみると、男女共に25～34歳が最も低く、男性は59.5%、女性は72.5%となっている。

図5 男女、年齢階級、行動の種類（「朝食」、「昼食」及び「夕食」）別行動者率—週全体

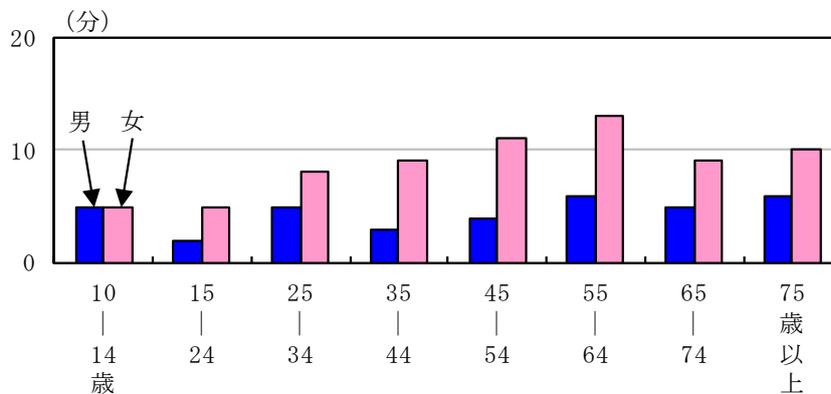


(6) 自由時間（「結果の概要」11～13 ページ参照）

【交際】

○「家族とのコミュニケーション」の時間を年齢階級別にみると、女性が男性より長い傾向

図6 男女、年齢階級別「家族とのコミュニケーション」の総平均時間一週全体

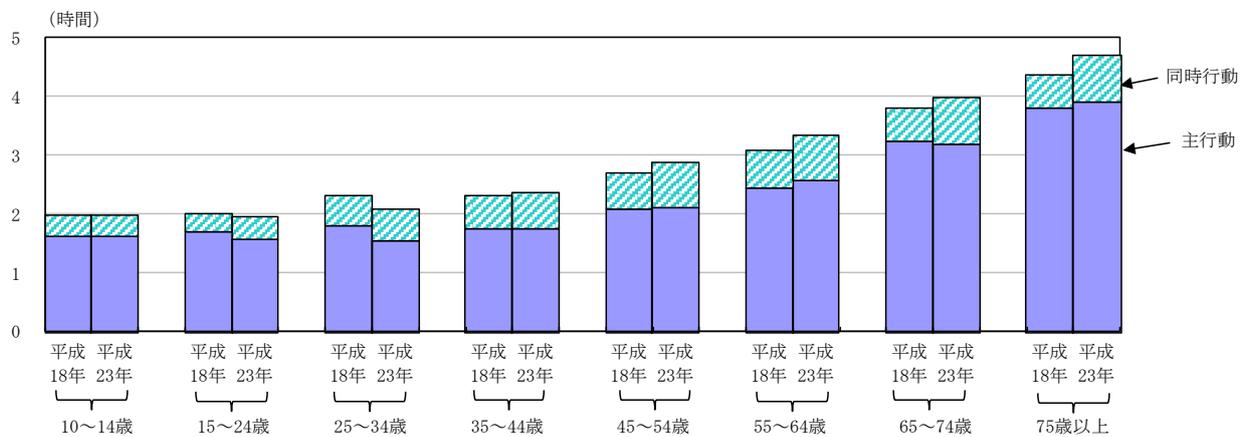


(7) 同時行動（「結果の概要」14～15 ページ参照）

○25～34 歳の「テレビ」を見る時間は、平成 18 年と比べると 10 分以上減少

- ・主行動及び同時行動を合わせた「テレビ」を見る時間を年齢階級別に平成 18 年と比べると、25～34 歳は 13 分の減少、15～24 歳は 3 分の減少となっている。一方、75 歳以上は 20 分の増加などとなっている。

図7 年齢階級別「テレビ」（主行動・同時行動）の総平均時間（平成 18 年、23 年）一週全体



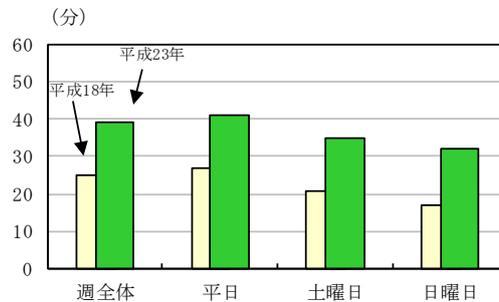
2 「インターネットの利用」、「行動の場所」、「一緒にいた人」からみた生活時間

(1) インターネットの利用（「結果の概要」16～19 ページ参照）

○インターネットの利用時間は、平成18年と比べると1.5倍以上増加

- ・インターネットの利用の総平均時間を曜日別に平成18年と比べると、平日は27分から41分、土曜日は21分から35分、日曜日は17分から32分といずれも1.5倍以上の増加となっている。

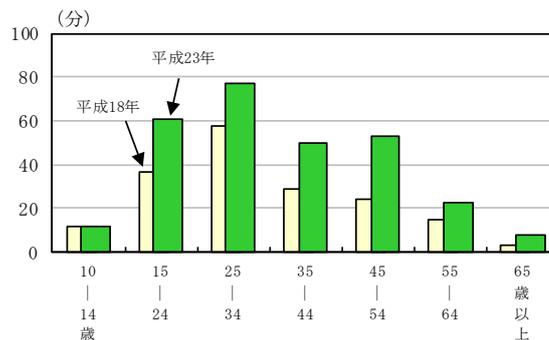
図8 曜日別インターネットの利用の総平均時間（平成18年、23年）



○インターネットの利用時間を年齢階級別にみると、25～34歳が最も長い

- ・インターネットの利用の総平均時間を年齢階級別にみると、25～34歳が1時間17分と最も長く、平成18年と比べると19分の増加となっている。

図9 年齢階級別インターネットの利用の総平均時間（平成18年、23年）一週全体

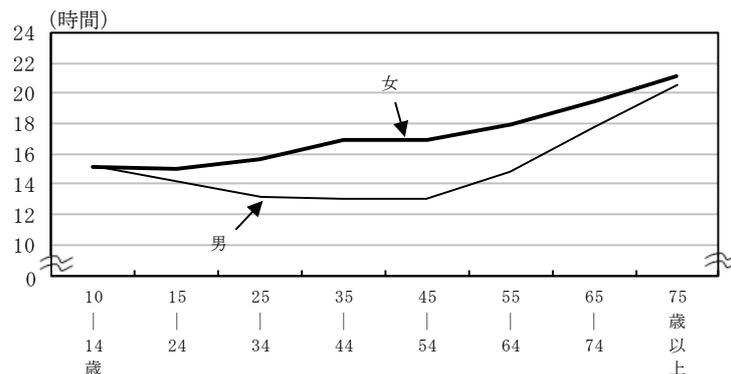


(2) 行動の場所（「結果の概要」20～22 ページ参照）

○自宅にいた時間が最も短いのは男性が35～44歳、女性が15～24歳

- ・10歳以上の方が自宅にいた時間は16時間14分となっており、男女別にみると、男性が14時間52分、女性が17時間32分となっている。年齢階級別にみると最も短いのは男性が35～44歳、女性が15～24歳となっている。

図10 男女、年齢階級別自宅にいた総平均時間一週全体

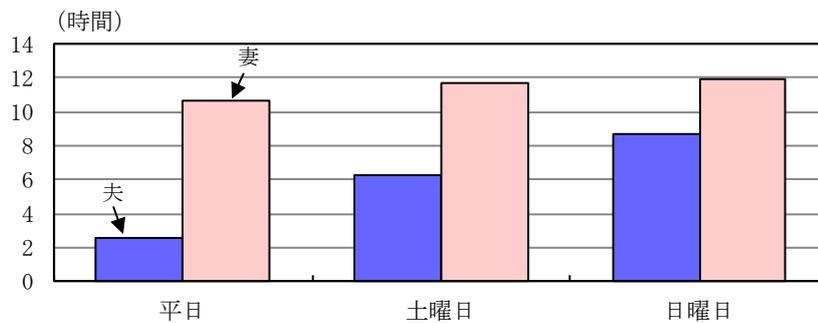


(3) 一緒にいた人 (「結果の概要」23～24 ページ参照)

○6歳未満の子供がいる父親が子供と一緒にいた時間は、平日は母親に比べ短い、土曜日及び日曜日は長くなり、その差は縮まっている

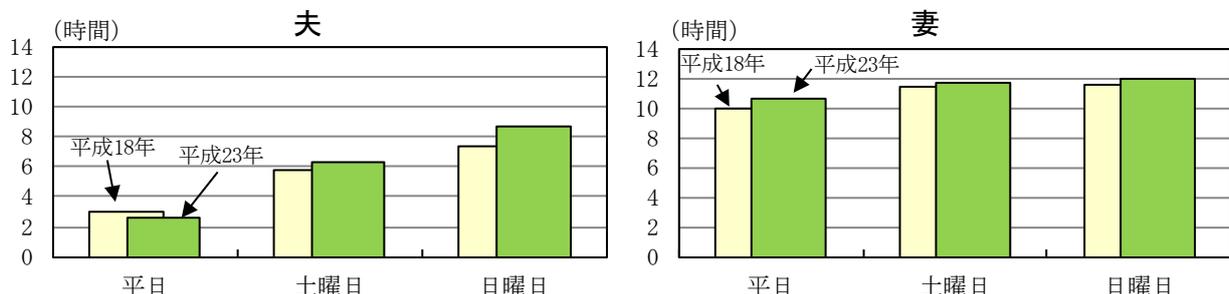
- ・子供のいる世帯（末子が6歳未満）の夫（父）と妻（母）の子供と一緒にいた時間を曜日別にみると、平日は夫（父）と妻（母）で大きな差がみられるが、土曜日及び日曜日は、夫（父）が子供と一緒にいた時間が長くなり、その差は縮まっている。

図11 曜日別子供と一緒にいた総平均時間—子供のいる世帯のうち末子が6歳未満の世帯の夫・妻



○子供と一緒にいた時間は、平成18年と比べると夫・妻共に土曜日及び日曜日は増加している

図12 曜日別子供と一緒にいた総平均時間（平成18年、23年）—子供のいる世帯のうち末子が6歳未満の世帯の夫・妻



○平日に一人で「夕食」をとった子供（10～14歳）は6%以下

- ・10～14歳の子供が「夕食」の時間に一人でいた割合を曜日別にみると、平日で5.9%、土曜日で7.0%、日曜日で2.7%となっている。

表3 行動の種類（「朝食」、「昼食」及び「夕食」）、曜日別一人でいた又は家族と一緒にいた行動者率—10～14歳 (%)

	平日				土曜日				日曜日			
	一人で	父	母	その他の家族	一人で	父	母	その他の家族	一人で	父	母	その他の家族
食事	21.5	46.8	85.2	76.4	25.5	62.9	91.0	73.0	20.0	71.1	91.3	75.2
朝食	9.7	28.9	74.1	52.9	13.9	33.1	63.4	42.0	12.7	38.1	57.3	39.4
昼食	2.7	-	3.4	2.0	10.4	29.4	53.1	39.1	6.6	37.9	55.9	43.8
夕食	5.9	29.2	74.8	65.9	7.0	50.6	80.9	64.7	2.7	61.9	82.1	68.6

注)「一緒にいた人」は複数回答及び不詳あり。

(参考) 生活時間配分の各国比較 (国際比較を行うためにEUの行動分類に準拠して組み替えた結果)

(「結果の概要」76～79ページ参照)

表 行動の種類別総平均時間一週全体、末子が6歳以下(日本、アメリカは5歳以下)の夫・妻

		(時間、分)						
		日本	アメリカ*)	ドイツ	フランス	スウェーデン	イギリス	
夫	個人的ケア	10.42	10.09	10.18	11.28	9.57	10.00	
	睡眠	7.53	8.20	7.53	8.32	7.49	8.12	
	身の回りの用事と食事	2.49	1.49	2.25	2.56	2.09	1.48	
	仕事と仕事中の移動	7.57	5.20	4.32	4.55	4.53	5.33	
	学習	0.03	0.12	0.03	0.02	0.09	0.03	
	家事と家族のケア	1.16	3.16	3.00	2.30	3.21	2.46	
	自由時間	2.36	4.44	4.39	3.53	4.09	3.58	
	ボランティア活動	0.01	0.13	0.12	0.12	0.10	0.06	
	他の自由時間	2.35	4.31	4.27	3.41	3.59	3.53	
	うちテレビ	1.28	2.12	1.43	1.58	1.46	2.03	
	移動	1.23		1.23	1.09	1.23	1.31	
	うち通勤	0.50		0.32	0.34	0.24	0.39	
	その他	0.03	0.19	0.05	0.03	0.07	0.09	
	妻	個人的ケア	11.08	10.34	10.51	11.39	10.30	10.20
		睡眠	7.58	8.44	8.17	8.48	8.10	8.25
身の回りの用事と食事		3.10	1.49	2.34	2.51	2.19	1.56	
仕事と仕事中の移動		1.49	2.58	1.12	2.13	2.17	2.00	
学習		0.04	0.19	0.04	0.02	0.19	0.04	
家事と家族のケア		7.02	5.37	6.11	5.49	5.29	6.09	
自由時間		2.40	4.17	4.18	3.13	3.59	3.44	
ボランティア活動		0.02	0.13	0.09	0.05	0.05	0.07	
他の自由時間		2.38	4.04	4.09	3.08	3.53	3.38	
うちテレビ		1.26	2.00	1.18	1.35	1.30	1.46	
移動		1.12		1.18	1.01	1.21	1.31	
うち通勤		0.13		0.09	0.13	0.13	0.13	
その他		0.06	0.17	0.06	0.03	0.06	0.11	
調査年月		2011.10	2011.1～ 2011.12	2001.4～ 2002.4	1998.2～ 1999.2	2000.10～ 2001.9	2000.6～ 2001.9	

*) 世帯内に6歳未満の者がいる世帯の18歳以上の人。移動は関連する行動に含まれている。

注) 国により定義の相違があるため、比較には注意を要する。

出典：日本は「平成23年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果」。小分類レベルでEU比較用に組替えた行動分類による。

アメリカはU.S.Bureau of Labor Statistics(BLS), "American Time Use Survey - 2011 Results"

EU諸国はEUROSTAT, "Comparable time use statistics - National tables from 10 European countries - February 2005"